

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイSES三島校		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 3日		2025年 3月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2025年 2月 3日		2025年 3月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動内容に幅がでてきた。	集団活動や食育等を各曜日ごとに設定し、様々な活動の提供を行っている	今後は利用児童からの希望なども取り入れていくために支援員だけではなく児童含めた振り返りを検討していきたい
2	土曜日の活動内容が充実してきた。	食事作りを通した生活力の向上だけではなく、外出なども検討している。また同法人内での合同行事を行い交流を図っており児童、支援員ともに関わりが広がっている。	来年度も児童や保護者の意見、希望なども取り入れ拡充していきたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎時間によっては支援員が薄くなってしまうときもある。	送迎場所、送迎時間が多くなってきた。	新規支援員の採用・送迎の組み合わせなど様々な検討をして改善していきたい。
2	地域の放課後児童クラブや地域に開かれた活動ができていない	放課後児童クラブは学校内にあり、どのように交流を持つていいのか手だてがわからない	情報を集め、少しずつでも交流や地域に開かれた活動ができるようにしていきたい。
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイSES三島校				公表日	2025年 3月 29日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		・活動別に区分けされている				
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	67%	33%	・配置数は適切である				
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	83%	17%	・専門に作られた建物ではないため可能な限り構造化している				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	83%	17%	・清潔かつ心地よく過ごせるようにしている				
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	83%	17%	・必要な場面を子供と一緒に確認し支援している				
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%		・参画できるように環境を整えている				
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%						
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・ミーティングやline等の連絡ツールで情報共有、改善に心がけている				
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	17%	83%		今後行っていきたい			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	17%	83%	・これから徐々に行う予定				
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		・リタリコ発達ナビで公表				
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%						
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		・ミーティングやその他の時間でやっている				
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		・ミーティング等で行う				
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	83%	17%					
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		・支援員間で共有、実施している				
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		・毎月実施				
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		・振り返り等をしながら固定化しないようにしている				

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	83%	17%	・ 集団活動、個別活動それぞれ設定している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		・ ミーティングを必ず行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		100%	・ 送迎後報告をしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		・ 毎日記録をとっている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		・ 相談支援事業所と連携しながら行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	100%			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%		・ 活動の中で自己決定できる場を常に行っている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		・ 管理者が出席している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	17%	83%		地域保健や医療などとの連携はまだ行っていない
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%		・ 送迎担当の支援員と管理者が適宜対応している	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	17%	83%	・ 徐々に行っていく予定	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	67%	33%		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	17%	83%	・ 児童発達支援センターとの連携が不十分のため今後強化予定	児童発達支援センターとの連携が不十分のため今後強化予定
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	33%	67%	・ 公園等で交流の機会を得ている	学校などに併設しているためハードルが高く行っていない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%		・ 管理者が出席している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		・ 連絡帳や送迎時に行っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	33%	67%		相談や不安点など適時受け付けているが研修の機会などの提供は行っていない
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		・ その都度丁寧な説明を心がけている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		・ 常に情報収集を行っている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		・ 保護者に応じた対応を行っている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機を設ける等の支援をしているか。		100%	・今後開催を検討	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		・管理者が対応している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		・インスタグラムやブログを活用	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。	17%	83%	・個人商店を利用等で周知を行っている	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		・家族との周知が十分ではないところもあるのでどのように周知していくかが課題	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	33%	67%		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		・ミーティングで共有	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	17%	83%	・対応する児童がいない	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	67%	33%		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	67%	33%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	67%	33%		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	67%	33%			